

～「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定地区が決定！～

内閣官房及び農林水産省が実施した「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」に全国から634件の応募があり、東北局管内からは**4件**が選ばれました。なお、第10回となる今回は、過去の選定地区の中から著しい発展性がみられ、全国の模範となる事例を第10回記念賞として選定することとなり、東北局管内から選ばれました。

また、東北農政局では、東北6県から応募のあった103件のうち、全国選定された4件を除いた中から、**東北農政局選定8件**を選定しました。

【第10回全国選定地区（東北管内）】

■ビジネス・イノベーション部門

- ・一般社団法人イシノマキ・ファーム
(宮城県石巻市)

■コミュニティ・地産地消部門

- ・高松第三行政区ふるさと地域協議会
(岩手県花巻市)
- ・本木・早稲谷 堰と里山を守る会
(福島県喜多方市)

■第10回記念賞

- ・仙北市農山村体験推進協議会
(秋田県仙北市)

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは？

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことによる地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信することを通じて他地域への横展開を図る取組です。

令和5年度東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定証授与式を開催しました。

12月22日(金)に仙台市内で選定証授与式を開催し、選定証授与のほか意見交換会を行いました。

今年度選定された8件は、今後、事例集への掲載やホームページで情報発信していきます。



受賞者への選定証授与

【令和5年度 東北農政局選定地区】

■ビジネス・イノベーション部門

- ・株式会社黒滝農園 (青森県つがる市)
- ・就労継続支援A型にじのいろ (青森県板柳町)
- ・一関研農同志会 (岩手県一関市/平泉町)
- ・宮城県柴田農林高等学校 森林環境科森林専攻 (宮城県大河原町)
- ・農事組合法人館合ファーム (秋田県横手市)

■コミュニティ・地産地消部門

- ・秋田県南旭川水系土地改良区
(秋田県横手市)
- ・福島県小名浜海星高等学校商業科
(福島県いわき市)

■個人部門

- ・佐藤 栄子 (山形県真室川町)



前島東北農政局長からの挨拶



選定証授与者との記念撮影

◇ 東北における「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」に関する情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。
<http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kouryu/discover.html>

上記紙面の問合せ先：東北農政局 農村振興部 都市農村交流課 022-263-1111(内4052)



海外の模倣品対策を支援します！

地理的表示海外保護・侵害対策事業

海外では、我が国GI産品とは無関係の第三者による商標出願や模倣品が多発しています。ブランド価値をおとしめ、輸出機会喪失にもつながるこうした事態を防ぐためには、何よりも海外で先に商標登録することが重要です。

GI協議会は、GI産品の保護強化のため、以下の取組を行うGI団体、GI申請団体等を支援いたします。



事業内容	補助率・上限	主な補助対象
1 海外へのGI申請・登録及び商標出願・登録支援		
(1) 協力関係にあるタイ・ベトナムへのGI申請	定額・300万円以内	通信費、国内外代理人費用、申請費用、登録料
(2) その他のGI申請	1/2以内・50万円以内	
(3) 海外への商標出願	1/2以内・1,000万円以内	
2 海外での侵害対策支援	定額・500万円以内	国内外代理人費用、調査費、異議申立費用、警告状作成費用

公募期間：2024年1月26日(金)まで

お問い合わせ先：日本地理的表示協議会
東京都北区西ヶ原3-1-12 TEL：03-5567-1991

お問い合わせフォームはこちら <https://www.jgic.jp/koubo/index.html> (外部リンク)

高病原性鳥インフルエンザに注意！
渡り鳥シーズンへの備え

◎ 防鳥ネットや壁に穴はあいていませんか？

農場内の整理・整頓を行い、一見隙間がなさそうな家きん舎の侵入口や、普段目が届きにくい場所などを再点検しましょう。

◎ 家きん舎の周辺・出入口の消毒を確実に実施していますか？

消毒等が適切にできているか、動線が交差していないか確認し、全ての従業員・外来事業者で衛生対策を徹底しましょう。

家きん舎の周囲には、ウイルスの侵入経路が多く存在しています。人・車両、野生動物を介したウイルスの侵入防止のため、今一度、点検・確認をお願いします。

鳥インフルエンザに関する情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>



「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止！

豚熱は、東北では令和2年12月に山形県の農場、令和3年12月に宮城県で発生しました。また、野生イノシシの豚熱感染は、これまで青森県を除く東北各県で確認されています。

近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱の発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いていますので衛生管理を徹底しましょう。

豚熱情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>



アフリカ豚熱情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>

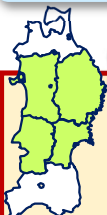


野生イノシシの豚熱検査情報情報はコチラ

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html



↑目的の二次元バーコードがうまく読み込めない場合は、指などで不要な二次元バーコードを隠した状態で読み込んでください。



地域からの便り

各県拠点では「農山漁村の季節の風物詩」、「農産物直売所、農漁家民宿等の取組」、「村おこしイベント」、「農山漁村の行事、お祭り」、「郷土料理」など東北各地域の取組や様子などを東北農政局HPで紹介しています。今号から随時抜粋して掲載してまいります。各記事の詳細は二次元バーコードからご覧ください。

岩手県拠点 (2023年11月6日掲載) 一岩手県・紫波町一
生産者の夢が叶った～地域に根ざした自園自醸ワインづくり～

紫波町は、冷涼な気候とミネラル豊富な土壌に恵まれた岩手県最大のぶどうの産地で、古くから生食用のほかにワイン用ぶどうを生産し、県内外のワイナリーに販売していました。そうした中で、ぶどう生産者の方々が「自分たちの育てたぶどうでワインを造りたい」という思いを抱き始め、2003年に設立された第三セクターの株式会社紫波フルーツパークに「自園自醸ワイナリー紫波ぶどう栽培研究会」を立ち上げました。

宮城県拠点 (2023年11月20日掲載) 一宮城県・七ヶ宿町一
スマート農業による「小さくても持続可能なまち」を目指して

七ヶ宿町は宮城県の南西部に位置し、福島・山形両県に接する奥羽山脈の東南斜面一帯を占める高原の町です。主な産業は、水稲や畜産を主とした農林業ですが、耕作者数の減少や高齢化が進んでいるため、農業を支える必要性を重視し、町全体でスマート農業システムの導入を推進しています。

秋田県拠点 (2023年12月5日掲載) 一秋田県・小坂町一
30年越しの想い「小坂産ワイン」誕生物語

小坂町は、県の北東部に位置し、明治時代の鉱業繁栄期の建築物や国立公園十和田湖を核とした観光振興に積極的に取り組んでいます。中でも平成元年に新たな産業として創出された未利用農地での山ぶどう系品種の栽培とワイン造りには大変なご苦労がありました。

山形県拠点 (2023年12月20日掲載) 一山形県・鶴岡市一
住民総参加によるむらづくりで越沢自治会が内閣総理大臣賞を受賞！

越沢(こえさわ)自治会が、令和5年度農林水産祭むらづくり部門で内閣総理大臣賞を受賞し、11月23日に農林水産祭式典において宮下農林水産大臣から表彰状と記念品が授与されました。

(写真：鶴岡市提供)

◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先：東北農政局企画調整室支援チーム

022-263-1111 (内線4402、4076)

